



令和8年5月 文責 石垣麻弥

春の遠足に行ってきました

小雨が降り、肌寒いあいにくの天気となりましたが、日程を変更しながら無事に遠足を実施いたしました。

出発前は天候を心配する声もありましたが、子どもたちはカッパに身を包み、いつもとは違う遠足にかえてワクワクした様子で元気よく学校を出発しました。



登呂公園に着いて、児童会が企画した『こおりおに』で遊びました。

雨が当たるのも構わずに夢中で楽しむ姿からは、悪条件さえも遊びに変えてしまう子どもたちのたくましさを感じ、見守る私たちも温かな気持ちになりました。



大きな木を見つけると、「だるまさんがころんだにぴったり。」とひらめいた6年生の提案で、『だるまさんがころんだ』が始まりました。鬼の鋭い視線から逃れようと、鬼の動きをよく見て、太鼓の音に耳を澄ませピタッと静止する子どもたちの真剣な表情が印象的でした。クラス以外の友達の名前も覚え、学年を超えて楽しく遊ぶ様子が見られました。

学校に帰ってから、みんなで弁当を食べ、体育館でも遊びました。遠足を通して上級生が下級生を思いやる姿が見られ、小学部の仲がより一層深まりました。

保護者の皆様、朝早くから、お弁当等や雨具の準備、ありがとうございました。遺跡を見た子どもたちは、「どんな人が住んでいたのかな？」と興味を持っていましたので、御家族で出掛けてみてはいかがでしょうか。

